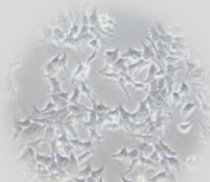


バイオ医薬品の工業生産に適した ヒト由来細胞の無血清浮遊培養プロセスの開発

バイオ医薬品の **創薬研究** と **生産プロセス研究** が連携し、次世代モダリティ（治療手段）を創製

背景 今後、次世代のバイオ医薬品は「**ヒト由来細胞**」を使用した生産が主流

問題点 現状、ヒト由来細胞は
血清を含んだ接着培養が主流



安全性：血清による未知成分混入

採算性：接着培養（平面培養）による
細胞増殖数の限界、スケールアップ困難

**解決の
アプローチ**

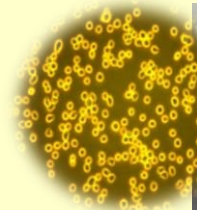
**無血清浮遊培養プロセス
の開発**

安全性の担保

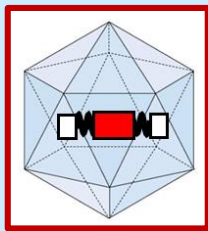
血清を含まない
完全合成培地の使用

工業生産の採算性

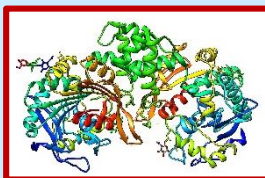
細胞数が **100倍** 以上に増加、
スケールアップが容易



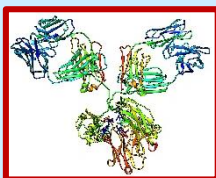
生産プロセス研究



ウィルスベクター
（遺伝子治療）



酵素



抗体

アンメットメディカルニーズ に向けた
生産対象の **創薬シーズ開発**

創薬研究

**次世代モダリティ
（治療手段）の創製へ**

学外連携機関（4機関）

先端的要素技術の提供・産学連携PJ策定